

令和7年9月5日

江別市立対雁小学校
保護者の皆様

江別市立対雁小学校
校長 田 中 豊 人

令和7年度 全国学力・学習状況調査 本校児童の状況分析及び改善策(学校改善プラン) について

初秋の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、今年度4月17日に行われました全国学力・学習状況調査の結果につきまして、保護者の皆様にその概要並びにこれからの方向性「学校改善プラン」をお知らせいたします。

なお、今回の調査結果は、あくまでも本校6年生の学力・学習状況の一面をとらえたものであり、学力や生活の全てではないことを申し添えます。

1. 学習における概要（全国・全道平均の正答率と比べています。）

「上回っている」：5%以上上回っている場合

「やや上回っている」：1～5%上回っている場合

「同様である」：同等あるいは0～1%上回っている場合や下回っている場合

「やや下回っている」：1～5%下回っている場合

「下回っている」：5%以上下回っている場合

対雁小学校児童の領域別理解度

教科	領 域	全道平均との比較	全国平均との比較
国 語	話すこと・聞くこと	やや上回っている	やや上回っている
	書くこと	やや上回っている	同様である
	読むこと	やや上回っている	やや上回っている
算 数	数と計算	同様である	やや下回っている
	図 形	やや下回っている	やや下回っている
	測 定	やや下回っている	下回っている
	変化と関係	やや下回っている	下回っている
	データの活用	同様である	やや下回っている
理 科	「エネルギー」を柱とする領域	やや下回っている	やや下回っている
	「粒子」を柱とする領域	同様である	同様である
	「生命」を柱とする領域	同様である	やや下回っている
	「地球」を柱とする領域	同様である	同様である

<国語>

○自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる問題が大変よくできていました。

○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる問題が大変よくできていました。

●漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題について、課題が見られました。

<算数>

○平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかを

みる問題がよくできていました。

- 数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみる問題に課題が見られました。
- 台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題に課題がありました。

<理科>

- ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる問題が大変よくできていました。
- 実験の結果を基に、結論を導いた理由を表現することができるかどうかをみる問題が大変よくできていました。
- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いているかどうかをみる問題に課題が見られました。

2. 児童質問紙調査における概要

- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」「国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか」に対して肯定的に回答した児童が、全国平均を大きく上回り、担任との良い関わりの中で、充実した学校生活を送れていることが伺えます。
- 「国語の勉強がすき」「算数の勉強がすき」「理科の勉強がすき」と回答した児童が全国平均を大きく上回り、興味関心をもって授業に臨んでいる様子が伺えます。
- 学校の授業時間以外での学習時間（平日）で、30分以下という児童が全国平均よりも大きく下回っており、多くの児童が毎日学習する習慣が身についている様子が見られます。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」等の生活リズムに関しては、課題が見られます。
- 「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問に肯定的に答えた児童が全国平均を下回りました。

3. 改善に向けて（さらに向上していくために）

- ◇今後も、担任との良好な関係や支持的な学級風土を維持しながら基礎的な学力が確実に定着できるように、教師からのポジティブな声掛け、AIドリル等の積極的活用などに取り組んでいきます。
- ◇充実した家庭学習に取り組める児童をさらに増やすために、手本となるような家庭学習の掲示をはじめ、自ら学び粘り強く学習に取り組む態度の醸成を図っていきます。
- ◇本校児童の伝統的な良さである「他者への思いやりの心」が、今年度も児童の中に育まれてきております。今後もその良き伝統を学校全体で大切にしていきます。

4. これからの方向性「学校改善プラン」（概略）

本校では全国学力・学習状況調査や標準学力調査の結果をもとに学力向上をめざして、次のようなプランを立てて改善策に全校で取り組んでおります。

①子どもの学習状況を確実に見取り、一人一人に応じた適切な指導の実施

- 学力テストで全国平均を下回った単元の重点的指導
- 常に学習規律を意識した授業の実施
- すべての児童が活躍できるよう、自分の考えを説明したり、協働的に学んだり、より難易度の高い問題へ挑戦できるような授業の工夫

②対話とICT活用による価値交換の充実

- 積極的な対話を重視した授業の推進、ICTの有効活用
- ICT実践活用校内研修の充実
- 教師間での積極的な授業実践交流

③何ごとにも粘り強く、諦めずにやり抜く力を身につけるための力を高める教育の推進

- やってみよう・やりぬこうの合言葉化。行事の目標、反省等での意識化を図る取組の充実
- 自由進度学習などの授業場面や行事・委員会活動・日常の当番活動の中で、児童が自主的・主体的に活動する場の設定
- 児童の望ましい行動の促進するための、教師からの「褒めて支える」働きかけの充実

5. 参考資料（よくできた設問・あまりできなかった設問の例）

【国語】

三 小森さんたちは、バスの運転士の岡さんにインタビューをすることにしました。次の「インタビューの様子の一部」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【インタビューの様子の一部】

小森さん 私たちは、働くことについて考えるために、興味のある仕事について調べています。今日は、岡さんの仕事としたいについてうかがいます。どうぞよろしくお願いします。

岡さん どうぞよろしくお願いします。

小森さん はじめに、バスの運転士として岡さんが大切にしていることを教えてください。

岡さん バスはたくさんの人を乗せていますから、やはり、安全に目的地までお送りすることを大切にしています。

小森さん 安全に運転することは大事なことです。安全に運転するために、例えばどのようなことを心がけているのですか。

岡さん 道が混んでいると時刻どおりに運行できないこともあります。あわててしまうと、大きな事故につながりかねないので、落ちついて運転するようにしています。それに、バスの安全を守っているのは運転士だけではないんですよ。

小森さん えっ、そうなんですか。運転士のほかにどんな人がいるのですか。

岡さん 出発する前に、自分でもバスの点検をしますが、整備士も定期点検をしています。そのほかに、私たち運転士の健康状態を確認するなど、安全な運行を管理する人もいます。

小森さん イなるほど。たくさんの方が、乗客の安全を支えてくださっているんですね。私たちは時間を守ることも大切だと思いましたが、私たちが思っていた以上に安全を第一に考えてくださっていることが分かりました。

清川さん バスの安全な運行のためには、大変なこともあると思いますが、いかがですか。

（インタビューが続く）

- (1) 「インタビューの様子の一部」の小森さんが――部アのように発言した目的として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 自分が知りたいことをより具体的に知るため。
 - 質問する理由を相手に正しく伝えるため。
 - 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
 - 相手が伝えたいことの内容を明確にするため。

○よくできた問題

インタビューをする際に、自分が知りたいこと具体例を引き出そうとしていると捉えることができているかどうかみる問題。インタビュアーがどのような情報を求めて質問をしたのかをしっかりと理解できています。

【木村さんのメモ】

言葉の変化について分かったこと

「あたり」は新しい形

(奈良時代)

あたらし

↓

ア

↓

あたらし

(今)

時代とともに言葉の形が変わる。

- (1) 【木村さんのメモ】の「ア」の中に入る適切な言葉を【資料2】の中から書きぬきましよう。

○よくできた問題

時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる問題。資料をしっかりと読んで、正しい解答を本文から見つけられた児童が多くいました。

相手のアこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

伊あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

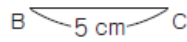
●あまりよくできなかった問題

漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかみる問題。4年生で学習した「好」と3年生で学習した「暑」を解答する記述式の問題でしたが、無回答、同音異義語「熱い」と書いてしまう児童が多く見られました。

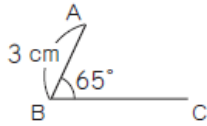
【算数】

【わかなさんのかき方】

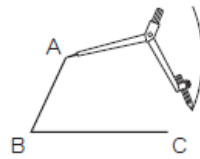
- ① 長さが5 cm になるように辺BCをかきます。



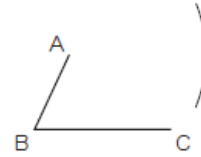
- ② 角Bの大きさが 65° で、長さが3 cm になるように辺ABをかきます。



- ③ コンパスを使って、頂点Dの位置を決めます。
コンパスを5 cm (辺BCの長さ) に開き、
コンパスの針を頂点Aにさして、円の一部をかきます。



【わかなさんのかき方】の③でできた図は、下のようになりました。



このあと、頂点Dの位置を決めるために、コンパスをもう一度使います。
コンパスを何 cm に開きますか。答えを書きましょう。

また、コンパスの針をさす場所を、頂点A、頂点B、頂点Cの中から1つ選んで書きましょう。

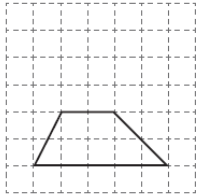
○よくできた問題

平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかをみる問題。向かい合う辺の長さが等しいという平行四辺形の性質と、コンパスは等しい長さを測り取ったり移したりすることができる道具であることを基に、コンパスの開く長さと針をさす場所を捉えることをしっかり理解しています。

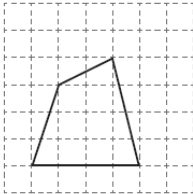
- (2) わかなさんは、方眼紙に下の 1 から 5 までの四角形をかきました。

下の 1 から 5 までの中で、台形はどれですか。
3つ選んで、その番号を書きましょう。

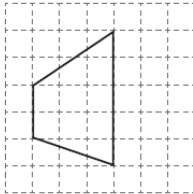
1



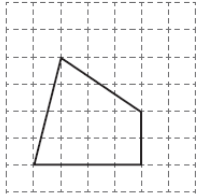
2



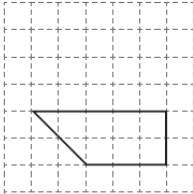
3



4



5



●あまりよくできなかった問題

台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題。上下に向かい合った一組の辺が平行な四角形を台形と捉えることができていたものの、左右に向かい合った一組の辺が平行な四角形を台形と捉えることが難しくかったようです。

- (3) 次の数直線のア、イの目盛りが表す数を分数で書きましょう。



●あまりよくできなかった問題

数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみる問題。アは0から1まで3等分されていることから $1/3$ であると捉えられているものの、イは、0から2まで6等分されていることから $5/6$ であると誤って捉えている児童が多くいました。

【理科】

3

たかひろさんとてるみさんは、ヘチマの花のつくりについて調べています。



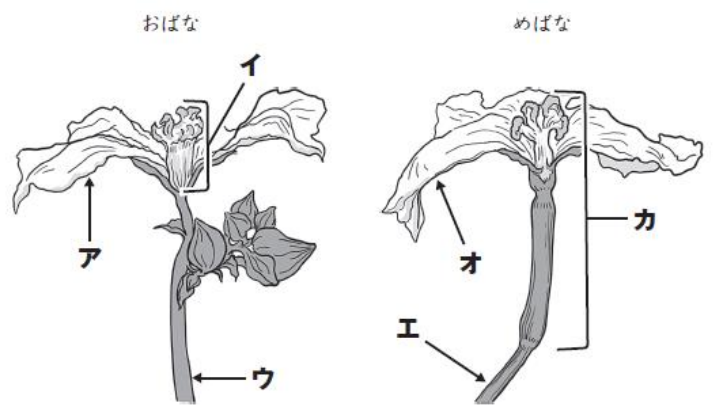
ヘチマのおばなとめばなは、どんなつくりになっているのかな。

○よくできた問題

ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる問題。「花粉がめしべの先につくこと」を受粉と正しく記述できた児童が多くいました。

- (1) ヘチマのおしべとめしべを下の図の **ア** から **カ** の中からそれぞれ1つ選んで、その記号を書きましょう。
また、「花粉がめしべの先につく」ことを表すことばを書きましょう。

ヘチマの花を切り開いて、中のつくりを見えるようにした図



【結果】

あかりさん
〈赤玉土に水がしみこむ時間〉

	コップA (大きいつぶ)	コップB (小さいつぶ)
1 回目	3 秒	11 秒
2 回目	4 秒	10 秒
3 回目	4 秒	11 秒

あかりさんは、【問題に対するまとめ】を考えています。



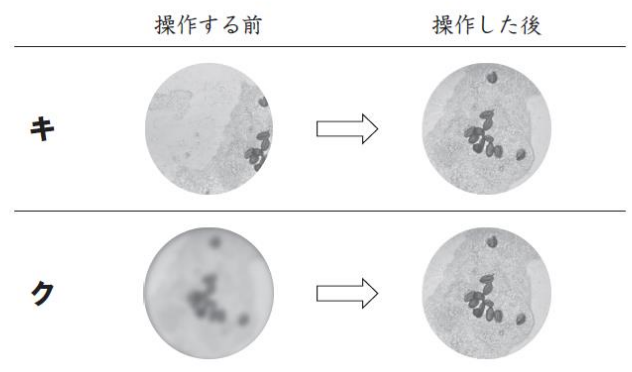
【問題に対するまとめ】は、「水のしみこみ方は、赤玉土のつぶの大きさによって、ちがいがある」といえるね。

- (2) あかりさんが下線部のようにまとめたわけを、上の【結果】を使って書きましょう。

○よくできた問題

赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができるかどうかをみる問題。水のしみ込む時間を数値で記述したり、それぞれのしみ込む時間を比較し、結論を導いた理由を説明したりする問題でしたが、多くの児童が正しく書くことができました。

- (2) けんび鏡を操作したとき、**キ** と **ク** のように、操作する前と後で見え方が変化しました。**キ** と **ク** はどのような操作をしたのか、下の **1** から **4** の中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。



- 1 対物レンズをちがう倍率のものにした
- 2 プレパラートを動かした
- 3 明るさを調節した
- 4 調節ねじを回した

●あまりよくできなかった問題

顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いているかどうかをみる問題。ピントを合わせるために調節ねじを回す操作について正しく理解できていない児童が多くいました。